

『医薬品情報学』投稿規定

Japanese Journal of Drug Informatics (Jpn. J. Drug Inform.)

一般社団法人日本医薬品情報学会の会誌『医薬品情報学』に投稿する論文の投稿規定は次のように定める。

投稿論文は、医薬品情報に関連するもので、独創的、新規で医薬品情報の発展につながるものとする。具体的なスコープを次に示す。医薬品情報関連学問分野として認められる薬剤疫学、臨床薬理学、薬物動態学、薬剤（製剤）学、医療（薬剤）経済学、薬局管理学、臨床薬学、医療薬学、社会薬学、医療情報学、衛生薬学、医療倫理、医療司法、薬学教育、医療経営、知的財産などに関する研究であり、かつ医薬品開発プロセス、すなわち、創薬、医薬品適正使用、育薬・医薬品のライフサイクルマネジメントという一連の流れにおける当該研究の位置づけが、情報という視点から明確に示されている研究であること。あるいは、医薬品開発プロセス、上記医薬品情報関連学問分野の一部あるいは全体を学際的に統合（インテグレート）する研究であること。

1. 投稿者の資格

投稿原稿の筆者（筆頭者に限らない）には、（一社）日本医薬品情報学会の会員を含むこと。ただし、寄稿及び国外からの投稿についてはこの限りではない。

2. 著作権

本誌に掲載された論文の著作権は、（一社）日本医薬品情報学会に属する。

3. 採否審査

原稿は、複数の専門家による審査の上、掲載の採否を速やかに決定する。掲載にあたっては原稿の一部修正を求められることがある。修正を求められた原稿はできるだけ速やかに再投稿すること。掲載は、投稿受付順を原則とするが、審査もしくは編集の都合により変更することがある。

4. 論文の主題

広く医薬品情報学に関する論文を対象とする。具体的なスコープは冒頭に記載したとおりである。投稿論文は、他雑誌に掲載されたもの、あるいは他誌に投稿中でないものとする。

5. 論文の種類

5-1) 原著

医薬品情報学についての新しい考え方や学術的な新規性を主題とする独創的な研究であるもの。

5-2) 短報（ノート）

原著に相当するほどの文章量はないが、医薬品情報学の発展に寄与する新しい技術や工夫を含むもの。

5-3) 総説

1つのテーマについて広範囲に文献考察を行い、

そのテーマに関する現状および将来展望を明らかにしたもの。

5-4) 資料

医薬品情報学の普及発展に役立つものや、調査データなど会員にとって参考となるもの。

5-5) 寄稿

編集委員会が標題を付して執筆を依頼した原稿。

6. 倫理的配慮

ヒトを対象とした研究では、ヘルシンキ宣言を遵守し、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」等の倫理規定や指針の遵守および個人情報保護等の倫理的配慮に基づいて行われたものでなければならない。また、倫理審査委員会の承認を得た場合にはその旨を記載する必要がある。

7. 試験デザイン

7-1) 臨床試験については、臨床試験登録公開システム（UMIN-CTR [<https://www.umin.ac.jp/ctr/index-j.htm>] など）に登録されたものでなくてはならない。

7-2) 前向きランダム化比較試験（RCT）については、CONSORT 声明¹に従ったものでなければならない（¹薬理と治療 38(11):939-947, 2010 などを参照のこと）。観察研究については STROBE 声明、システマティックレビュー/メタアナリシスについては PRISMA 声明に従ったものでなければならない。原則として、最新版の国際指針に基づく必要がある（The EQUATOR Network [<https://www.equator-network.org/>] などを参照のこと）。

8. 論文原稿の投稿

8-1) 投稿時に必要な書類

1. 論文原稿（本文、図表）

2. 原稿カード

3. 査読者候補カード（候補者を挙げない場合は不要）

4. 利益相反（COI）自己申告書

*原稿カード、査読者候補カードおよび利益相反（COI）自己申告書は、JASDI ホームページ（<https://jasdi.jp/>）からダウンロード可能である。本誌の末尾にも添付されている。

*著者は、査読者候補カードを用いて、査読者の候補を提示することができるが、査読者の選定は、編集委員会が行う。

8-2) 投稿方法

原則として、論文の投稿は、e-mail による電子投稿を推奨する。

8-2-1) e-mail による電子投稿

<送付書類>

原稿カード、査読者候補カード：

JASDI ホームページ (<https://jasdi.jp/>) からダウンロードした原稿カード、査読者候補カードのファイルに、必要事項を入力後、PDF ファイルに変換して保存する。ファイル名は、「JJDI-card-筆頭者名」等、筆頭者名を含むように名付けること（PDF 化ができない場合は、エクセルファイルのままでも可）

原稿：

本文および図表を必ず1つのPDFファイルとして保存する。ファイル名は、「JJDI-MS-筆頭者名」等、筆頭者名を含むように名付けること。査読にあたり、高解像度の図、写真の提出が必要な場合は、添付すること。ファイルサイズが大きく、メールでの送信ができない場合には、郵送にて投稿する。

利益相反 (COI) 自己申告書：

JASDI ホームページ (<https://jasdi.jp/>) からダウンロードした利益相反 (COI) 自己申告書に、投稿論文の内容に関連するすべての共著者の利益相反状態について記載し、保存する。ファイル名は「JJDI-COI-筆頭者名」等、筆頭者名を含むように名付けること。

原稿の送付：

送付書類一式を e-mail (editorial-office 1 @ jasdi.jp) に添付して、投稿する。e-mail の件名は、「医薬品情報学投稿論文 (筆頭者名)」とすること。

8-2-2) 郵送による投稿

<送付書類の準備>

原稿カード、査読者候補カード：

必要事項を記載した原稿カードと査読者候補カード各1部。

利益相反 (COI) 自己申告書：

必要事項を記載した利益相反 (COI) 自己申告書1部。

原稿：

印刷論文1部とそのコピー3部 (写真については正4部)。

原稿の送付：

送付書類一式を「医薬品情報学原稿」と朱書した封筒に入れ、下記原稿送付先に郵送する。

8-2-3) 論文掲載が決定した場合

論文原稿が受理され、掲載が決定した場合は、最終原稿の電子ファイルを速やかに原稿送付先に郵送する。郵送する内容は以下のとおり。

* 最終の印刷論文2部

* 以下のファイルを保存した電子記録媒体 (CD-ROM, USB メモリなど)

・論文の文書ファイル (Microsoft Word を推奨する/拡張子: .docx, .rtf)。

・論文の図ファイル (図は、必ず TIFF ファイル又は JPEG ファイルなどの画像ファイルとして保存する。図ごとに別ファイルに保存する (ファイル名は、Fig1.tif, Fig2.jpg などとする)。Microsoft Excel や Microsoft Powerpoint のままの投稿は認めない (図の細部にずれが生じるおそれがあるため)。

* 電子記録媒体には、筆頭者名、論文タイトルを付記する。

<原稿送付先>

〒108-0023 東京都港区芝浦 4-15-33

芝浦清水ビル

(株) マディア内

一般社団法人日本医薬品情報学会事務局

「医薬品情報学」編集事務局宛

e-mail:editorial-office1 @ jasdi.jp

9. 投稿論文の掲載料

投稿論文の掲載料は規定頁内については1頁5,000円、規定頁数を超過した場合は1頁10,000円とする。

掲載論文別刷30部を無料とする。カラー印刷は実費とする。

追加の別刷を希望の場合は、50部ごと注文受付とし、費用については以下に定める。著者校正の原稿提出時に、所定の用紙を用いて必要部数をオーダーする。

8頁まで1部80円 (201部以上;一部60円)

8頁を超える場合1部90円 (201部以上;一部70円)

執筆要領

1. 投稿論文の原稿量

原則として、図表、写真および文献を含めて下記の量以内にて執筆すること。

仕上がり1頁が2,400文字 (英文では1,000 words) である。

仕上がり頁数が超過した場合、編集委員会が必要と認めた場合に限り、掲載が可能である。

論文の種類 仕上がり印刷頁

1-1) 原著、総説 8頁以内

1-2) 資料 8頁以内

1-3) 短報 (ノート) 4頁以内

原稿量の目安: 1-1), 1-2) については、2. 原稿作成要領に従い、本文 (表題, 要旨外): 400字詰30枚、図表8点程度。1-3) については、本文 (表題, 要旨外): 400字詰10枚、図表5点程度となる。図、表、写真それぞれ1点を800文字と換算する。

2. 原稿作成要領

2-1) 用語：原稿は和文または英文のどちらでも受け付ける。

2-2) 用紙サイズと文字数：ワードプロセッサ等を使用し、和文の場合、A4判の用紙に横書き10ポイント以上で印字する。英文はA4判ダブルスペースとする。表紙から通しページをつける。

2-3) 原稿の形式

2-3-1) 和文原稿：原稿の1枚目に①表題、②著者名、別刷り請求連絡者の右肩に asterisk (*), ③所属機関と所在地、④別刷り請求先、⑤英文の表題、⑥英文著者名、⑦英文所属機関、⑧英文住所、⑨担当者名、電話番号、ファクシミリ番号、e-mail アドレス、を記入する。なお、著者が、施設・機関へ派遣された企業所属の派遣研究者や社会人大学院生等として実施した研究成果を発表する場合は、その身分だけでなく当該所属企業名も記載する。

- 2-3-2) 英文原稿：和文原稿に準ずるが、必ず native check を受け、その証明を添付のこと。
- 2-3-3) 要旨 (Abstract)：すべての種類における原稿の第2枚目は、英文抄録とし、その和訳 (これは掲載しない) をつける。(英文抄録は native check を受け、その証明書を添付のこと。) ただし原著・短報・総説においては、英文の「構造化要旨」(structured abstract) の形式をとる。原著・短報に関しては、Objective, Design, Methods, Results, Conclusion の順で、総説については、Objective, Data Sources, Study Selection, Data Extraction, Results, Conclusion の順を原則とする。いずれも 300 語までとする。なお、key words は 5 個以内とし、“MeSH” (Medical Subject Headings) を参考として記す。なお、これ以外の論文についての形式は特定しない。
- 2-3-4) 本文の構成：本文は原則として、緒言、方法、結果、考察、結論、(必要なら)謝辞、利益相反、文献の順で記載する。
- 2-3-5) 利益相反 (Conflict of Interest : COI)
本誌の投稿者 (すべての共著者) は、論文投稿時に投稿内容に関連する利益相反状態を申告する必要がある。「利益相反」の見出しに続けて、利益相反 (COI) 自己申告書の内容を記載する。COI 状態がない場合は、「開示すべき利益相反 (COI) なし」と記載する。
- 2-3-6) 名称：人名はなるべく原語を用い、薬品名は原則として英米綴りの一般名を用いる。商品名が必要な場合は、一般名初出箇所に () で表す。
- 2-3-7) 略号など：初出箇所正式名を添える。[例]医薬品使用評価 (Drug Use Evaluation : DUE) を実施した。
度量衡などの単位は原則として英文略称を用いる。[例]mm, cm, mL, g, kg, s, min, h, など。
- 2-3-8) 図、表、写真：表題や説明は和文でも可とする。鮮明なものを用意し、1 枚ずつ別紙に貼りつける。それぞれの原稿には筆頭著者名、図表番号を付ける。図、とくに写真の場合は天地を明確にする。その表題は、別紙にまとめて書く。複数場合は、1, 2, … を添え、必ず表題を付け、必要なら説明を加える。表記は図 1, 表 1, 写真 1 (Fig.1, Table 1, Phot.1) などとする。図表関係は、本文原稿とは別に、一括して綴じる。図、写真の文字サイズは、1 段 (ヨコ 7.5 cm) にはめ込んだ際 (縮小された場合)、9 pt 以上の大きさとなるように作成する。
- 2-3-9) 図、表、写真の挿入箇所を明記する。
- 2-4) 引用文献
- 2-4-1) 本文中に 1), 連続する場合、7~9) のように引用番号を記し、本文最後の文献の項目に番号順に整理して記載する。
- 2-4-2) 文献の項目の書式は、以下の例を参考として記載する。

[雑誌]著者名. 題名. 雑誌名 (イタリック体) 発行年; 巻: 通巻頁.

例 1) 山田太郎. 医薬品情報の展開. *医薬品情報学*1998; 1: 3-12.

例 2) Williams F, Miller E, Jefferson T, et al. Drug informatics in net-work society. *Nature* 1997; 8: 659-70.

[書籍・単行本] 著者名. 題名. (編者名). 書名 (イタリック体). 発行地 (外国の場合のみ): 発行所, 発行年: 頁.

例 1) 山田太郎. 編. *薬剤学・医学・薬学的側面*. 学会出版, 1998.

例 2) Kim D. Computerized drug information system. In: Pit B, editor. *Internet searching*: New York: Kohgen Co., 1997: 12-51.

[インターネット] 団体名, “ページタイトル”, URL (アクセス日).

例 1) World Health Organization, “Life tables by country—Japan,” <http://apps.who.int/gho/data/?theme=main&vid=60820> (accessed 30 April, 2016).

例 2) 厚生労働省, “平成 27 年版厚生労働白書—人口減少社会を考える—”, <http://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/15/dl/all.pdf> (2016 年 5 月 16 日閲覧)

2-4-3) 著者について

①姓 (family name) と名 (given name) の間にコンマを入れない。

②名 (given name) に省略記号 (.) をつける。

③著者が 3 人以下なら全員を記載する。それ以上の場合は、最初の 3 名のみを列記し、それに「ら」, “et al.” を付記する。

2-4-4) 雑誌について

①略式雑誌名のあとに省略記号 (.) をつけない。

②雑誌名はイタリック文字を用いる。イタリック文字を使えない場合は、雑誌名にアンダーラインを引く。

③巻数はゴシック文字を用いる。

④英文原稿に和文献を引用するときには、最後に (in Japanese) を添える。
論文タイトルは、英文にする。ただし投稿者が英訳したタイトルには [] をつける。

2-5) 頁数について

最終頁数は、最初頁数と重複しない数字のみ記す。
[例] Martin H, Hansten J. Otitis media in adults. *BMJ* 1999; 1: 98-9.

2-6) 単行本について

書名はイタリック文字を用いる。イタリック文字を使えない場合は、書名にアンダーラインを引く。

3. 著者校正

原則として、初校時 1 回のみとする。

「医薬品情報学」原稿カード

受付番号									
受付日		注意：太線内の欄はすべて著者が記入または○をつけてください							
投稿希望欄	1.原著 2.短報(ノート) 3.総説 4.解説・資料 5.寄稿								
(ふりがな)筆頭著者名				会員NO.					
連絡者名 (筆頭著者と同じ場合は記入不要)				会員NO.					
連絡先	郵便番号								
	所在地								
	機関名・部署※								
	TEL								
	FAX								
	e-mail								
※著者が施設・機関へ派遣された企業所属の派遣研究者や社会人大学院生等として実施した研究成果を発表する場合はその身分だけでなく当該所属企業名も記載する。									
原稿・論文題名									
投稿論文のみ記入 審査希望領域 (3つまで選択可)	1. DI医薬情報 2. 調査研究 3. 症例報告 4. DI活用実例 5. EBM 6. 市販後情報 7. 疾患関連 8. ゲノムSNP情報 9. 遺伝子情報 10. セルフメディケーション 11. かかりつけ薬局 12. PMS 13. 医療人のコミュニケーション 14. 薬局が望む医薬品情報 15. Bioethics 16. 情報マネジメント 17. リスクマネジメント情報 18. 事故処理、プレアポイド実例報告 19. 薬学生の意識調査 20. 薬学生と教員の卒業研究の教育効果に対する意識調査 21. その他()								
	レフリー候補者の提示	1.有 2.無 *有の場合は投稿カード裏面にご記入ください。							
利益相反(COI)	間違いがないことを確認し、□にチェックを入れてください。 □ 利益相反(COI)自己申告書の内容と論文本文中の記載に相違はありません。								
原稿枚数	表紙	枚	審査状況	氏名	審査渡し年月日	審査員より返却年月日	投稿者へ返送年月日	投稿者より返却年月日	
	要旨	枚		編 審A					
	本文	枚			審B				
	Scheme	枚		(審)					
	Figure	枚							
	Table	枚							
	写真	枚							
合計	枚								
英文に対するネイティブチェック(証明書)の添付済 (添付済の場合は□にチェックを入れてください)		□	受理	受理の分類	1. 原著 2. 短報(ノート) 3. 総説 4. 解説・資料		英文チェック		
英文要旨word数 (300語以内)		語		受理日	掲載決定	編集委員長サイン			
カラー写真費用の実費負担について負担します。	了承の方はサインしてください。			Vol.					
				No.					

レフリー候補者 (5名まで記入可)	ふりがな 氏名		所属機関名 ・ 部署
	連絡先	〒・所在地 機関名・部署 TEL FAX e-mail	
	ふりがな 氏名		所属機関名 ・ 部署
	連絡先	〒・所在地 機関名・部署 TEL FAX e-mail	
	ふりがな 氏名		所属機関名 ・ 部署
	連絡先	〒・所在地 機関名・部署 TEL FAX e-mail	
	ふりがな 氏名		所属機関名 ・ 部署
	連絡先	〒・所在地 機関名・部署 TEL FAX e-mail	
	ふりがな 氏名		所属機関名 ・ 部署
	連絡先	〒・所在地 機関名・部署 TEL FAX e-mail	
	ふりがな 氏名		所属機関名 ・ 部署
	連絡先	〒・所在地 機関名・部署 TEL FAX e-mail	

医薬品情報学:利益相反(COI)自己申告書

著者名： _____

論文題名： _____

(著者全員について、投稿時から遡って過去 2 年以内の本研究に関連する企業や営利を目的とした組織または団体との利益相反状態を記載)

項 目	該当の 状 況	有の場合、著者名：企業名などを記載
① 企業や営利を目的とした団体の役員、顧問職などの有無 (1つの企業・団体から年間 100 万円以上のものを記載)	有 ・ 無	
② 株の保有 (1つの企業の1年間の利益が 100 万円以上、あるいは当該株式の 5%以上保有のものを記載)	有 ・ 無	
③ 企業や営利を目的とした団体から知的財産権使用料として支払われた収入などの有無 (1つにつき年間 100 万円以上のものを記載)	有 ・ 無	
④ 企業や営利を目的とした団体より、会議の出席(発表)に対し、研究を拘束した時間・労力に対して支払われた日当、講演料の有無 (1つの企業・団体からの年間合計 50 万円以上のものを記載)	有 ・ 無	
⑤ 企業や営利を目的とした団体のパンフレットなどの執筆に対して支払われた原稿料などの有無 (1つの企業・団体から年間合計 50 万円以上のものを記載)	有 ・ 無	
⑥ 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費(委託受託研究、共同研究)などの有無 (1つの企業・団体から支払われた総額が年間 100 万円以上のものを記載)	有 ・ 無	
⑦ 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学寄付金(奨励寄付金)などの有無 (1つの企業・団体から支払われた総額が年間 100 万円以上のものを記載)	有 ・ 無	
⑧ 企業や営利を目的とした団体が提供する寄付講座との関連の有無 (企業などからの寄付講座に所属している場合に記載)	有 ・ 無	
⑨ 研究とは無関係な旅行、贈答品などの有無 (1つの企業・団体から年間 5 万円以上のものを記載)	有 ・ 無	

本利益相反申告書は論文掲載後、2年間保管されます。

申告日： _____

所 属： _____

署 名： Corresponding author, co-author _____ (自 署)
(申告者が該当するものにチェックする)